

# 研究推進だより

平成 30 年 5 月 21 日

伊深小学校

文責：古田

## 1. タブレットを使った授業の流れの例

★個人タブレットを課題追究の場で使う場合（ジャストスマイル ver.）

### 導入

- ・問題配布
- ・板書で見通しをもつ

### 追究

- ・タブレットで課題追究
- ・児童の画面で説明。
- ・意図的に児童の画面を抽出しながら，全員で考える。

### まとめ

- ・何人かの児童の画面を扱いながら，まとめをする。一つの例では，まとめない。
- ・本時大事にしたい考えや，ノートに残したいことは板書に残して，各時間をとる。
- ・練習問題はノートに行い，振り返りを行う。

一番児童が意欲的に I C T 機器を使って授業に向かえるタイミングは，追究場面でのタブレットの発表ノート機能の活用です。発表ノートには，カメラで撮ったものを張り付けたり，前もって書いた計算や図などを載せたりできます。書き込みをしたあとに消しても，間違っただけのものまで消してしまうことはありません。試行錯誤をしながら考えることがしやすいと思います。そのため，簡単な文章，記号等を使って説明をするときには有効であると思います。タブレットにはワードなども入っていますので，そこで作った表をはることも可能です。

親機タブレットでは，スカイメニューが常時右側に青いバーとして出ています。ジャストスマイルでどんな機能も自由に使えます。カメラ機能や，事前に用意した写真等も見せることができます。マーキングもできるので，仲間のノートを見ているときに，他の児童に説明させるときに活用します。発表ノートの機能としては，スカイメニューの方が扱いやすいですが，他の機能と並行して扱えないことはもったいない気がします。ジャストスマイルの発表ノートは，教員側が扱うのには慣れが必要ですが，児童にとっては簡単で扱いやすいと思います。どちらも一長一短ですが，児童がなれるという意味では，年間で使うアプリケーションを統一するとよいのではないかと思います。

## 2. いろいろな教科で使いやすい機能

- ・カメラとプロジェクターで書画カメラとして使えます。とりたいものも自由自在。
- ・教卓で活動の例を画面に映し出します。前に移動させる必要がないです。
- ・社会でもデジタル教科書の表を発表ノートに用いて，資料を配って考えさせることはできるかと思っています。